山壁産業 株式会社

対象類型	精密加工
事業類型	一般型
主たる目的	生産性向上

表彰・受賞記念品製造で業界トップ
老朽化した設備を刷新し、さらなるシェア拡大へ。

2／3／4　1

1／事業の柱である表彰・受賞記念品。マラソン大会の完走メダルを入れるメダルプレートなども人気が高い　2／新たに開発・導入した木工専用連続転写機。表彰・受賞記念品の面取りおよびシート張り加工の工程で使用　3／木工専用連続転写機による作業風景。細かな調整が不要になり、生産性が飛躍的に向上　4／表彰・受賞記念品の部材を準備する女性スタッフ。社員の平均年齢は30代半ばで、20代前半の若手も活躍中

最新機器の導入で、表彰・受賞記念品の生産性を向上。

山壁産業はガラス加工で創業し、その高い技術を生かした家具部材の製造で成長。新分野にも積極的に取り組み、現在では店舗用オーダー家具および表彰・受賞記念品の製造が事業の柱になっている。表彰・受賞記念品の製造においては業界トップシェアを占めており、2012年頃から業界初となる完全内製化を推進。価格競争力の強化と高品質化を実現したが、製造工程の「面取りおよびシート張り加工」で使っていた機械に課題があった。

以前使用していたのは組立家具用の機械。専用機ではないため熟練の職人による微調整が必要だったのに加え、職人は高齢でリタイアが迫っていた。また、機械の老朽化も進んでおり、海外製のためメンテナンスや修理も困難だった。そこで補助事業を活用し、木工専用連続転写機を機械メーカーと共同で開発。面取りおよびシート張り加工の専用機として導入した結果、職人不在でも高品質の製品を安定して生産できるようになった。その結果、製造コストが圧縮され、収益性の向上にもつながった。さらに、小ロットや多品種、短納期など多様な注文への対応も可能になり、強みが増した。長期目標として据えたシェア率75%への引き上げは、達成に近づいている。

注目すべき成果

生産性が約1.5倍に。人件費の圧縮で収益性も向上。

表彰・受賞記念品の主要な製造工程「面取りおよびシート張り加工」の専用機を新たに開発・導入。製造能力が大幅に向上し、生産性は約1.5倍に。熟練の職人による作業が不要になり、人件費の圧縮によって収益性も高まった。

導入による付加価値

完全内製化のメリットを、さらにブラッシュアップ。

高品質の製品を安定して大量生産できることに加え、多品種・小ロットの注文への対応や、業界初となる即日出荷も含めた短納期への対応が可能に。サービスの付加価値が高まり、安価な海外製品との差別化につながった。

今後の展望

新しい機械の導入で、業界シェア率75%を目指す。

表彰・受賞記念品の市場規模は約50億円ほどで、山壁産業の製品がトップシェアを占めている。新しい機器の導入によって、約60%で推移していたシェア率を75%に拡大することが目標で、着々と達成に近づいている。

ものづくり専門員から一言

時代の変遷に即した幅広い対応力

同社は創業当時の業態から、時代のニーズを的確に捉え様々な分野で事業展開・拡大を図ってきた。表彰関連製品の製造・加工では国内トップシェアを占めるなど業界を牽引する存在となっているほか、受注状況も安定的で新たな雇用創出にも貢献している。

こんな会社です！

長年培った技術力の高さで、新分野を切り拓く。

1983年6月の創業以来、時代変化に柔軟に対応しながら事業を発展させてきました。当初はガラス・木工加工が主力でしたが、次第に需要が減少。2013年頃から、長年培ったガラスと木工の加工技術を組み合わせた家具の部材製造を新たに始め、活路を開きました。家具分野の成長が鈍化した後は、店舗用オーダー家具の製造に乗り出し、現在では売上の半分近くを占めています。また、2003年頃から取り組んできた表彰・受賞記念品も少しずつ市場を開拓し、店舗用家具と並ぶ事業の柱に成長しました。近年では、ECサイトも立ち上げ、挑戦を続けています。

代表取締役
山本 博靖さん

第2工場で店舗用オーダー家具を製造

山壁産業本社。第1工場を併設

山壁産業 株式会社

代表者／代表取締役 山本 博靖
設　立／1983年（昭和58年）6月
資本金／2,000万円　従業員数／43名
事業内容／木製品部材加工及び完成品製作施工、硝子製品加工・販売・施工、店舗木製什器設計施工、表彰用品部材加工及び完成品製作、ディスプレイ製品製作
売上高／9億7,000万円（2022年度11月期）

本社：〒916-0016 鯖江市神中町2-501-15
☎0778-52-9120　FAX. 0778-51-8860
E-mail contact@yamakabe.jp
URL https://yamakabe.com/index.html